

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

## 池袋駅周辺地区

令和4年3月

東京都豊島区

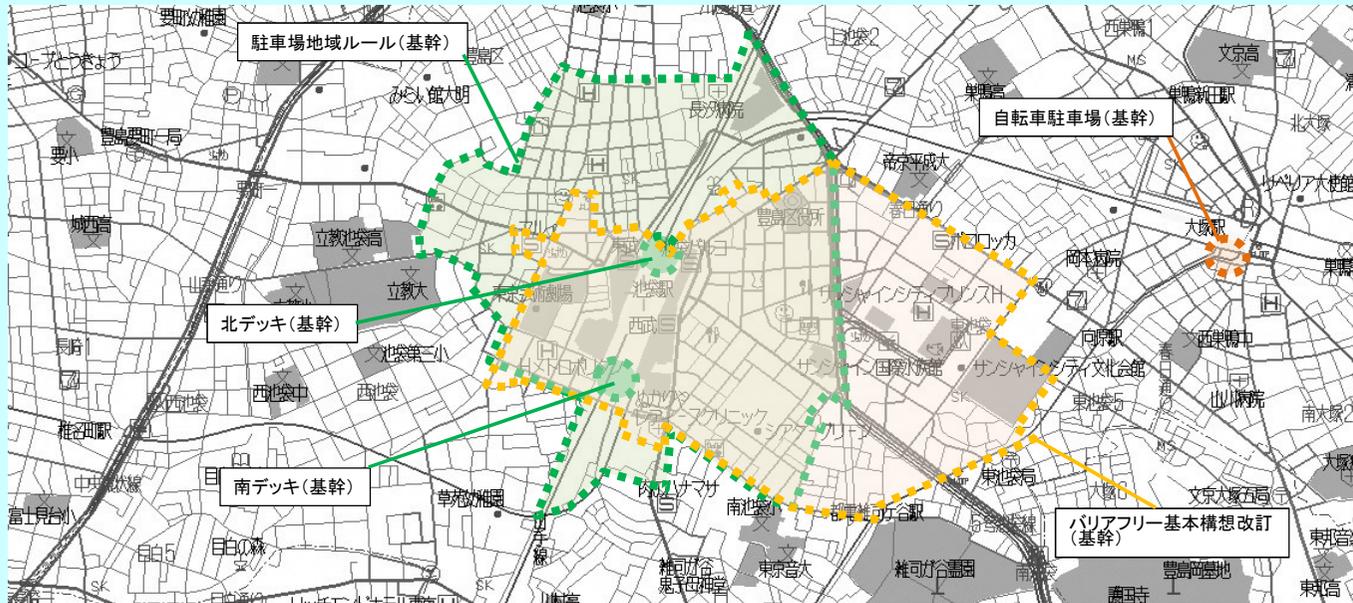
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	豊島区	地区名	豊島区池袋駅周辺地区			面積	14ha				
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	2,022百万円	国費率	1/3、1/2						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	大塚駅南口自転車駐車場整備、大塚駅北口駅前広場整備、池袋駅周辺自由通路北デッキ設計、地下通路案内誘導表示整備、池袋駅東口エレベーター整備(1機)											
	提案事業	傍聴											
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	基幹事業	大塚駅北口駅前広場整備、地下通路案内誘導表示整備、池袋駅東口エレベーター整備(1機)	大塚駅北口駅前広場整備は、事業着手予定が延期 地下通路案内表示は、他の補助スキームを活用 エレベーター整備は、既存施設への影響が大きく、調整断念		影響なし								
	提案事業												
新たに追加した事業		基幹事業	池袋駅周辺自由通路南デッキ整備・計画、池袋駅地区駐車場地域ルール、池袋駅周辺地区バリアフリー基本構想改訂		デッキ整備は、道路上空部のみ先行着手が可能となったため、民間都市開発と併せて着手。 駐車場整備計画策定に伴い、地域ルール策定に着手。		駅周辺の自由通路や駐車場地域ルール策定は、駅周辺の安全性と利便性を備えた歩行者空間に資するものであり、賑わいと魅力に直結する。						
提案事業													
交付期間の変更		当初	平成 年度 ~ 年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更		平成 年度 ~ 年度											
2)社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	駅周辺における放置自転車台数を把握する	台	380	H27	300	R2	モニタリング	201	○	あり なし	大塚駅南口駅前自転車駐車場を整備したことによるもの。また、放置自転車の撤去を徹底し、放置駐輪し難い環境を整えた。	
	指標2	区民意識調査の調査結果を把握する	%	23.6	H26	29.0	R2	-	39.9	○	あり なし	デッキ整備を含む「池袋副都心交通戦略」に基づく、「道路空間の歩行者への開放」や「駅のバリアフリー対応」など歩行者中心のまちづくりのほか、「南池袋公園」をはじめとした公園整備や「Hareza」などの民間都市開発が進んだ結果が反映されたもの。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車駐輪場の整備を行った結果、駅周辺における放置自転車数が減少した。</li> <li>・駐車場地域ルール策定により特定路線への駐車場設置の制限や地域特性に応じた付置台数への整備を図り、歩行者中心の魅力あるまちづくりに寄与する制度を策定した。</li> <li>・バリアフリー基本構想改訂とともに、住民部会や協議会にて障害当事者、行政、各事業者の障害理解が深まってきた。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	池袋駅地区駐車場地域ルール策定ワーキング、協議会 池袋駅地区バリアフリー基本構想に伴う住民部会、協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も事業者や地元を巻き込んだ意見交換の場を継続して設け、様々な意見も取り入れた計画を進める。また、蓄積した情報等は教訓集として水平展開する。						
持続的なまちづくり体制の構築	駐車場地域ルール策定後は運用委員会として民間、地元、行政が参画した組織体を継続	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 歩行者中心の安心で賑わいのある駅前広場創出のため、周辺街区の路上駐車対策、荷捌き対応を継続して実施する。							

## 様式2-2 地区の概要

### 豊島区池袋駅周辺地区(東京都豊島区) 社会資本総合整備計画事業の成果概要

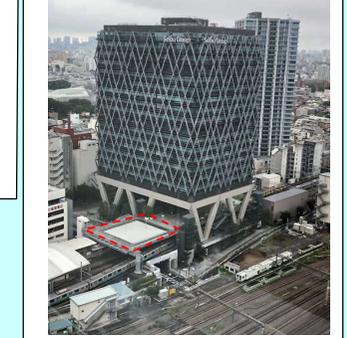
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。	駅周辺における放置自転車台数を把握する 単位: ㎡	380	H27	300	R2	201	R2
	区民意識調査の調査結果を把握する 単位: 台	23.6	H26	29.0	R2	39.9	R2



■基幹事業(交通)  
・大塚駅南口自転車駐車場



■基幹事業(交通)  
・池袋南デッキ



#### まちの課題の変化

安全性と利便性を備えた歩行者空間創出実現に向けた初めの取り組みとしての「放置自転車対策」は、ハード整備と併せたソフト整備の徹底により着実に効果が出ており、放置し難い環境が整った。従って、今後は当環境を維持するため、地元を巻き込んだ活動など側面支援を実施する。  
今後は、池袋駅西口再開発事業や副都心交通戦略に基づく東口駅前広場創出(クルドサック)実現に向け、鉄道事業者との調整および駐車場地域ルールの更なる推進や路上荷捌き車両対策を進める必要が明確となった。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・歩行者中心のまちづくりに資する更なる交通戦略の実施
  - 駐車場地域ルールのエリア拡大、隔地受けとなる公認集約駐車施設の増進、路上荷捌き対策
- ・駅前広場創出にむけた調整
  - 西口再開発事業およびデッキ構想実現に向けた関係事業者との調整
- ・「都市の快適性と魅力を高める」ことを念頭に、公民が連携した都市再生を進める。